



JC版経営者セミナー

事業詳細

お問合せ先

組織デザイン委員会
委員長 松賀 夏樹
TEL 090-4835-1669
Email matsugaya2015@gmail.com

組織デザイン委員会
副委員長 吉田 隆人
TEL 080-1060-6330
Email ryut71@me.com

JC版経営者セミナーで青年会議所の学びを経営者としての資質向上に繋がります！

本セミナーはブロックアカデミー事業の一環として開催をさせていただき、入会3年未満のアカデミーメンバーをメインターゲットとした研修事業を実施いたします。青年会議所が提供する「ビジネスの機会」を通じて青年会議所の魅力をより深く知り、自身が青年会議所で活動する意義を再認識することで、メンバーの活動意欲、当事者意識を高めるセミナーを展開します。

組織デザイン委員会のスタッフ(委員長、または副委員長)が講師として講演を行い、全国各地で実際に青年会議所活動を通じて社業を良くされた方の事例紹介やサポートを交え、展開します。

アカデミー事業に活用できる「JC版経営者育成パッケージ」の展開

JC版経営者セミナーはサマーコンファレンス2026で組織デザイン委員会が執り行うフォーラム・セミナーにて「JC版経営者育成パッケージ」を発信し、今後LOMやブロック協議会が実施するアカデミー事業のパッケージとして展開をする予定です。尚、誰でもが同じクオリティで講演が行える事を体現するため、JC版経営者セミナーの講師は組織デザイン委員会にて務めさせていただきます。

JC版経営者セミナーは青年会議所の有用な使い方を学ぶ機会、青年会議所の魅力について青年会議所が提供する「ビジネスの機会」から学ぶ場でもありますので、アカデミーメンバーは勿論、多くのJCメンバーにも積極的なご参加をお願い致します。

開催までの打ち合わせについて

JC版経営者セミナー開催フォームから申込、または担当者への直接連絡を行っていただいた後、組織デザイン委員会の担当者より各LOM・ブロック協議会の担当者様と実施スケジュールの調整を図らせていただきます。

開催準備に要する期間は1ヵ月程度をいただければ調整いたします。

セミナー時間、ドレスコード

セミナー時間は60～90分が目安となります。

ドレスコードの指定はありません。開催LOM・開催ブロック協議会が定めるドレスコードにて設定ください。

(通常開催はカジュアル推奨です。諸会議や会頭公式訪問との同時開催の場合はビジネスを推奨します。)

準備いただく備品

開催にあたり下記の備品のご準備をお願い致します。

会場(会議室、研修室)/マイク等の音響設備/プロジェクター/スクリーン/パソコン

その他

設営は開催LOM・ブロック協議会にて人員を輩出していただくことを基本としていますが、諸事情により設営に関わる人員の確保が難しい場合は組織デザイン委員会にて開催補佐を行いますので、開催までの打ち合わせにあたり、お気軽にご相談ください。

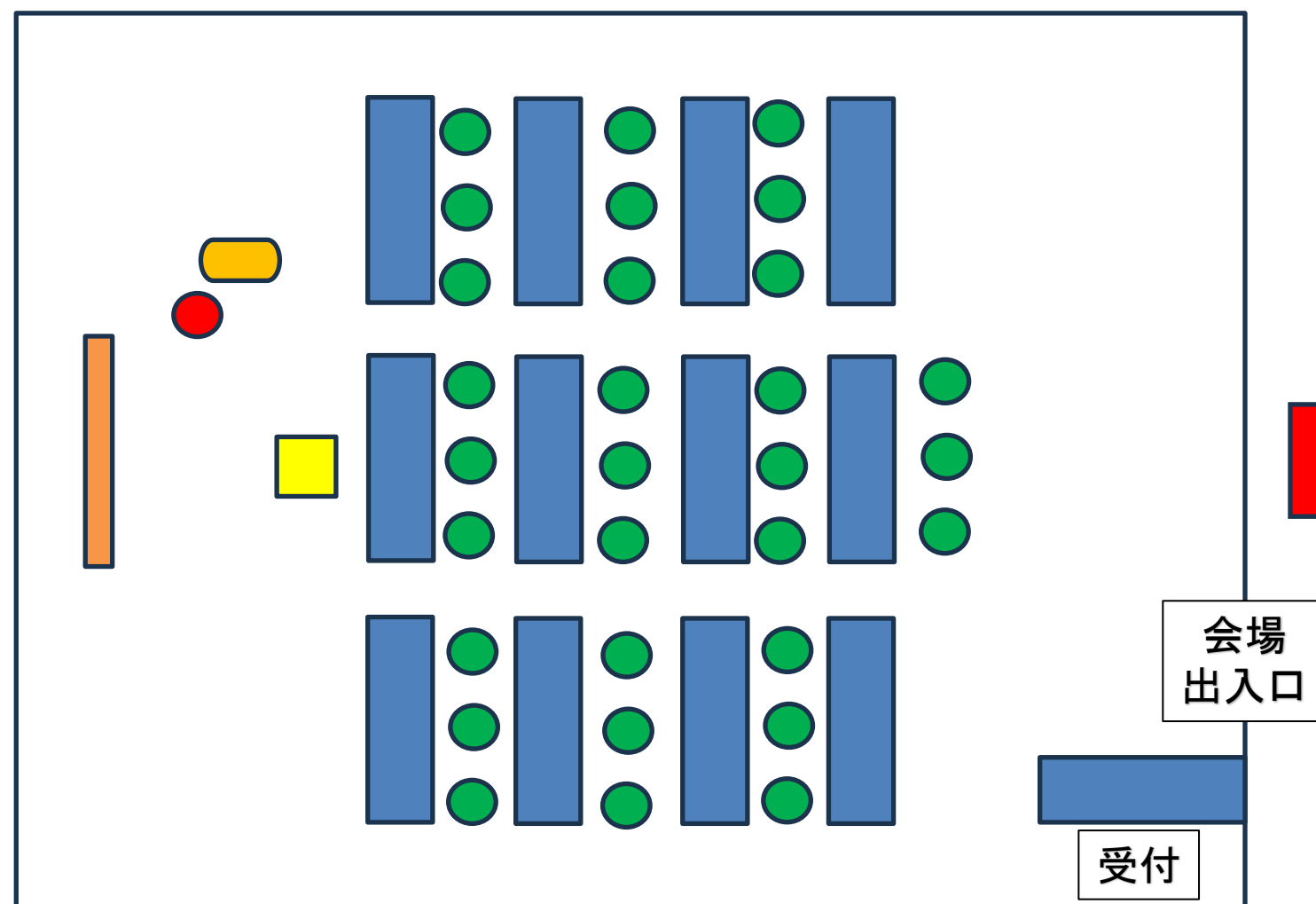
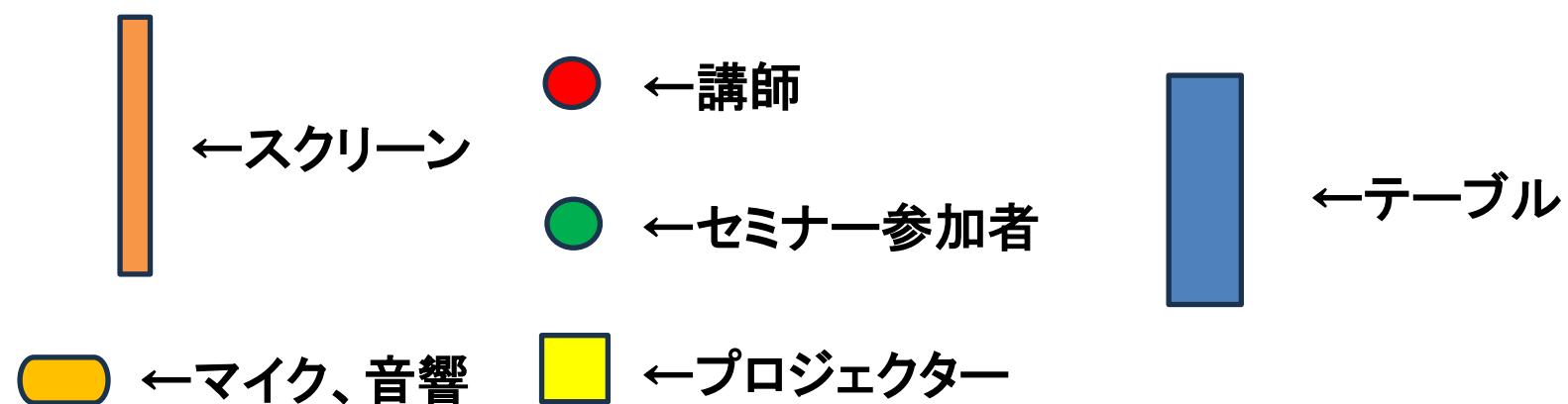
打ち合わせの際に、組織デザイン委員会としても設営に関する連絡をさせていただきます。

汎用的なレイアウトイメージとなりますので、参考にいただければと思います。

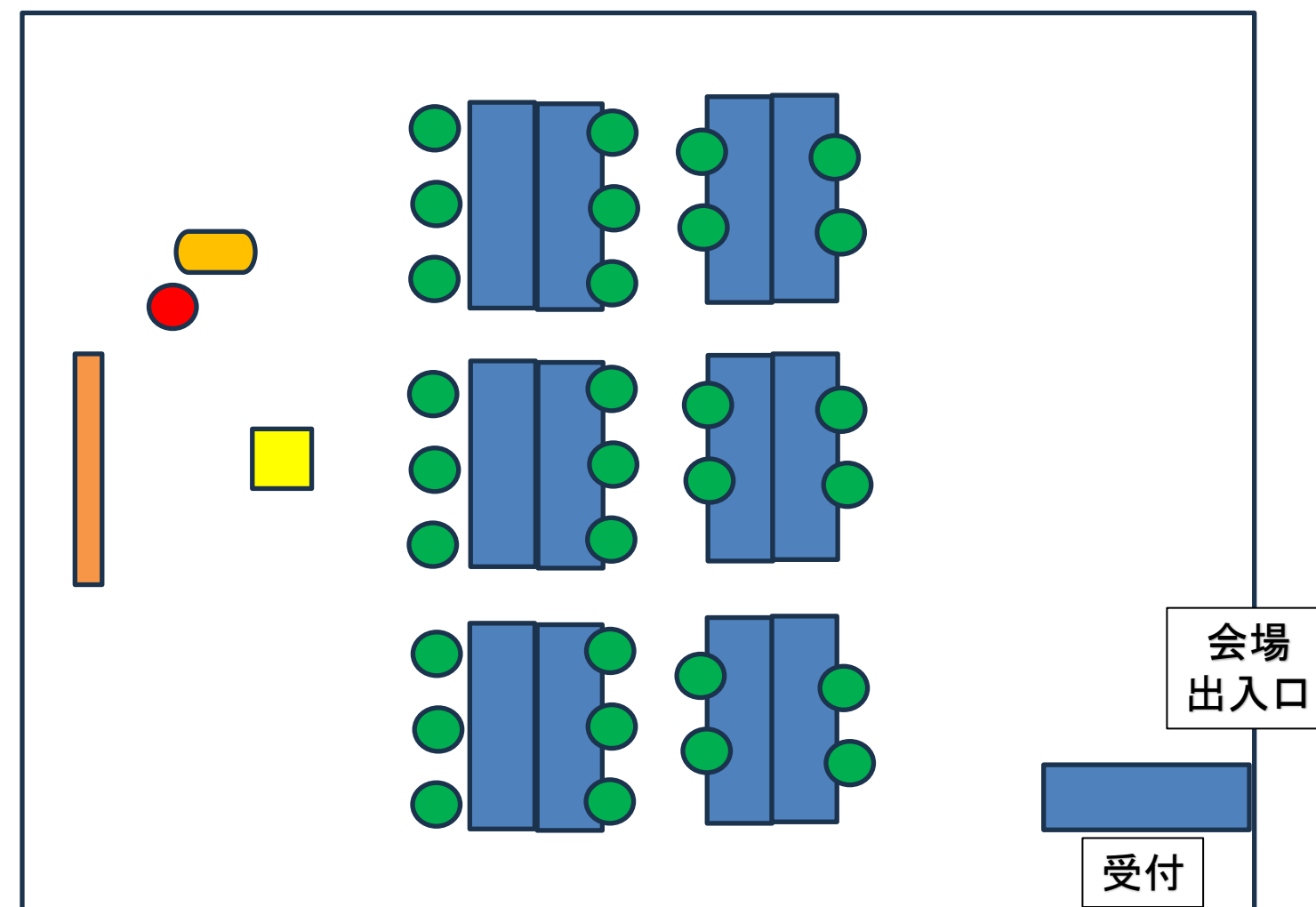
以下は、参加人数30人を想定した場合のイメージ図となります。

グループワークの展開もあるため、一つの島に4~6人が固まりやすい配置が良いと思います。

※参加人数が10名以下の場合、一つの島に2~3人とするなど、人数に応じた変更は問題ありません。



グループワークイメージ



■JC 版経営者セミナー講演内容について

資料作成：2026 年度 公益社団法人日本青年会議所 組織グループ 組織デザイン委員会

各地の青年会議所メンバーが、自身が働かされている会社の悩みについて、「青年会議所であればどのような対応策・解決策があるか」を説明させていただくことが JC 版経営者セミナーの講演内容となります。

社業の悩みを大別すると、「組織の課題」「人の課題」という分野での悩みを抱かれています。

【組織の課題】	【人の課題】
<ul style="list-style-type: none">・売上を伸ばしたい・商圏を拡大したい・新事業を始めたい・組織の一体感を高めたい・地域での認知度を上げたい	<ul style="list-style-type: none">・退職率を減らしたい・社員を主体的に働かせたい・リーダー候補を育てたい・社員のモチベーションを上げたい・経営者としての視野を広げたい
…etc	…etc

この悩みについて、一般的な対応は多くの会社でされているところとなります。

例えば、「退職率を減らしたい」悩みについて、給与を増やす、勤務時間を減らしたり、休暇を増やしたりして、社員を引き留めるような対応をされているところがあったとして、それは対症療法であって原因療法にならないところにもなります。

そんな時、青年会議所の学びをビジネスに置き換えると、どのような対応になっていくか。

メンバーにやりがいを感じさせる、LOM の方向性を示す…そのためにも、一緒に方針を考えること、なぜそうなるのかを会議の場で説明すること。

さらに感謝を日常に組み込み、称えることで、個人個人のモチベーションを高めていく…。

これを会社に置き換えた形で活用することで、社員の会社に対する当事者意識が高まり、退職という考えが無くなることへと繋がります。

そうした青年会議所での取り組みを、ビジネスに絡め説明いたします。

また、実際に全国各地で、青年会議所での学びをビジネスに活用した事例を取りまとめ、実例を踏まえることで理想論だけにならない内容として展開し、受講されたメンバーの青年会議所活動への意欲を高めることに繋がるセミナーとして構築を進めています。